

心臓血管外科がおすすめする初期臨床研修プラン

心臓血管外科は心臓疾患（弁膜症、虚血性心疾患など）、大血管疾患（大動脈瘤、急性大動脈解離など）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など）をあつかう診療科であり、術者には極めて高度な手術手技を要求され、さらに手術中は集中力、判断力、冷静さを必要とされます。そのためには十分なトレーニングを積まなければなりません。したがって初期臨床研修をどのように経験するのかが極めて重要になります。まず心臓血管外科専門医は外科専門医の上位（サブスペシャルティ専門医）に位置しており、外科専門医を取得した後でなければ心臓血管外科専門医を取得できませんので、多くの心臓血管外科手術を経験するために、初期研修期間を外科専門医を取得するためのトレーニング期間にあてると効果的です。すなわち若いうちに多くのトレーニングを経験することが大切です。

1. 研修病院の選択

A・B コース

可能な限り、下記に示すように診療科に循環器内科と心臓血管外科がある施設での研修をお勧めいたします。下記の協力型研修病院は、本学心臓血管外科の連携病院で教育関連施設の関係にあり、その後の後期研修にスムーズに移行できると思います。いずれの病院も外科専門研修プログラムの連携施設になっているため、経験した症例をカウントすることができます。

C コース

下記の協力型研修病院（たすきがけ病院）に加えて研修協力施設での短期研修が可能です。

心臓血管外科の教育関連施設（2020年4月現在）			
協力型研修病院 (たすきがけ病院)	市立札幌病院 函館五稜郭病院 小樽市立病院（Aコースのみ）	砂川市立病院 北見赤十字病院	市立函館病院 釧路孝仁会記念病院
研修協力施設	北海道立北見病院	北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）	

2. 心臓血管外科医になるために研修が望ましい診療科

循環器内科：心疾患などの循環動態管理の基礎知識など取得可能です。

麻酔科：外科手術の麻酔管理を研修できます。

救急部：急性心筋梗塞、急性大動脈解離、重篤な危険な不整脈、PCPSなどの救急疾患を研修できます。

集中治療：術後の集中治療を研修できます。

消化器外科：外科専門医に必要な手術を経験できます。

呼吸器外科：外科専門医に必要な手術を経験できます。

3. コース選択

Aコース：大学病院で基礎を固めて、連携施設で外科手技に没頭する

Bコース：連携施設で基本を身に付け、大学病院で特殊な手術を含めた研修をする

Cコース：大学病院ならではの Academic surgeon を目指す

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)	必修 内科 (循環器)	必修 内科 (呼吸器)	必修 救急	必修 救急	必修 (ICU)	必修 救急	必修 精神科	必修 (麻酔科)	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 外科	
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 心臓血管外科、呼吸器外科、消化器・総合、乳腺内分泌外科 (外科専門医取得に合わせてローテーション)								選択 心臓血管外科 (コドモックルで先天性心疾患)			